

2023年5月12日

2023年3月期 決算説明補足資料

センサで世界を測る、未来を拓く。

OHIZUMI

株式会社大泉製作所

- 空調用の好調と為替影響で自動車部品の減収をカバー、通期売上は前期比微増
- エネルギー高騰や成長投資コストで前期比減益
- 4Qでは中国市況や市場在庫調整による減収で損益悪化

【売上】

- 自動車部品は半導体不足等による車両減産の回復が遅延
- 空調部品は市場拡大、主要顧客向け新規製品の販売が増加

【収益】

- 外部環境悪化によるコスト増は合理化努力で補った

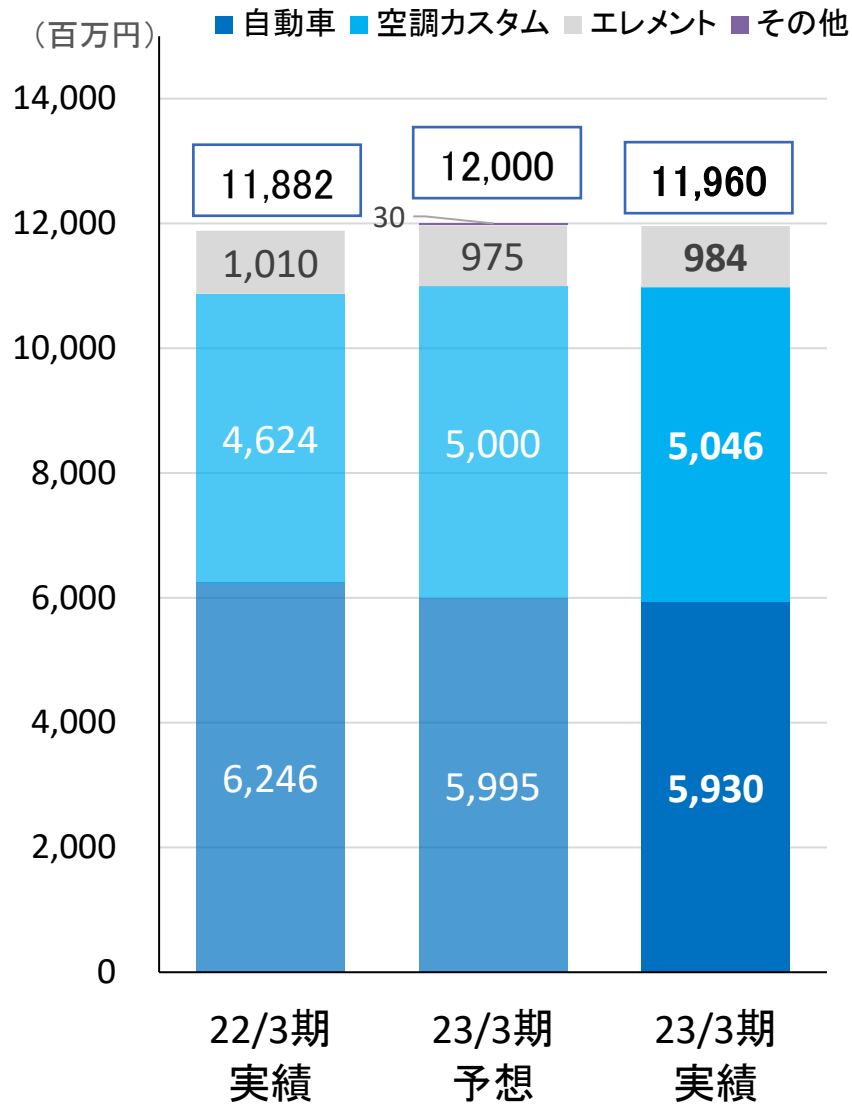
【期末配当】

- 安定配当として前期同額(1株当たり8円)を継続

単位:百万円

	2022年3月期		2023年3月期				
	実績	売上高比	予想*	実績	売上高比	前期比	予想比
売上高	11,882	100.0%	12,000	11,960	100.0%	+ 0.7%	- 0.3%
営業利益	598	5.0%	350	294	2.5%	- 50.9%	- 15.9%
経常利益	536	4.5%	445	382	3.2%	- 28.7%	- 14.0%
当期純利益	427	3.6%	180	188	1.6%	- 55.9%	+ 4.8%
為替レート USD/JPY	112.06円		132.70円	135.50円			

* 2023年3月期予想は2023年2月12日の公表値を記載しております。



事業	前期比 (百万円)	増減率	業績 予想比 (百万円)	前期比コメント
全体	+ 78	+ 0.7%	▲ 40	自動車減収も空調の好調や為替影響により前期比微増
自動車	▲ 316	- 5.1%	▲ 65	車両減産影響を受ける中、電動化領域はインド向けの増加や新規受注品の立上げで前期比+1.9%増
空調 カスタム	+ 422	+ 9.1%	+ 46	ASEAN市場の拡大や欧州のヒートポンプ導入加速により前期比増
エlement	▲ 26	- 2.7%	+ 9	光通信用は上期のFTTx需要増により前期比+19.2%増

- 日本 : 電動化領域は増加したものの、車両減産影響が大きく減収
- 中国 : 車両減産や市況悪化により減収
- ASEAN : インド向け電動化領域の増加、空調用の好調等により全事業で増収

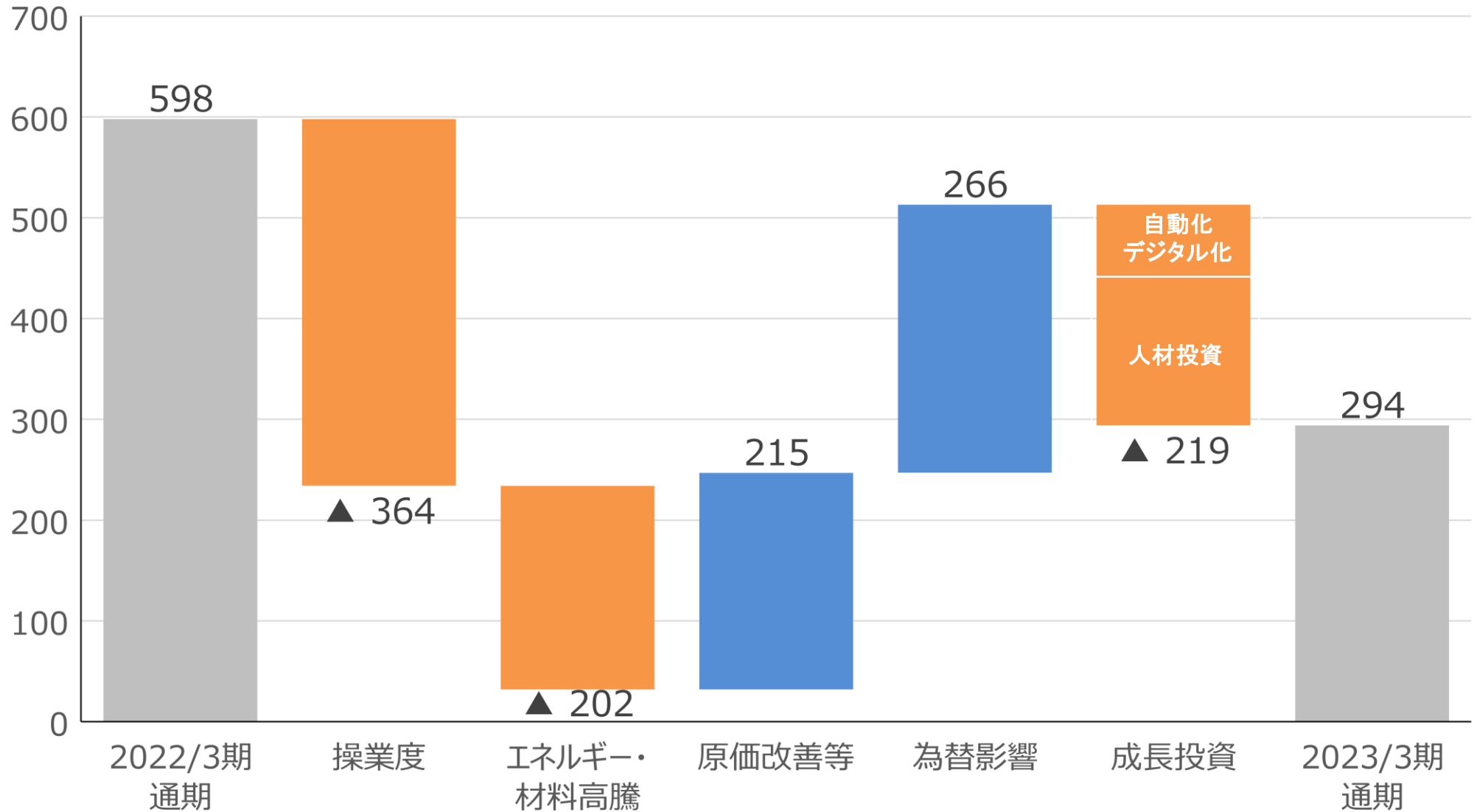
単位:百万円

エリア	22/3期 通期	構成比	23/3期 通期	構成比	前期比	増減率
日本	5,184	43.6%	4,863	40.7%	▲ 321	- 6.2%
中国	3,024	25.5%	2,818	23.6%	▲ 206	- 6.8%
ASEAN (含インド)	1,236	10.4%	1,774	14.8%	+ 537	+ 43.5%
その他	2,436	20.5%	2,504	20.9%	+ 68	+ 2.8%
合計	11,882	100.0%	11,960	100.0%	+ 78	+ 0.7%

* エリア区分は当社の納入先を基準とし、各売上高には納入後に他国に輸出されるものが含まれます。

(百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



2023年3月末 貸借対照表

- フェローテックホールディングスを割当先とする第三者割当増資で株主資本、現預金が増加（調達資金はサーミスタ素体増産及び自動化投資に充当予定）
- 長期借入金の期限が2023年11月に到来、固定負債から流動負債に振替

（単位：百万円）

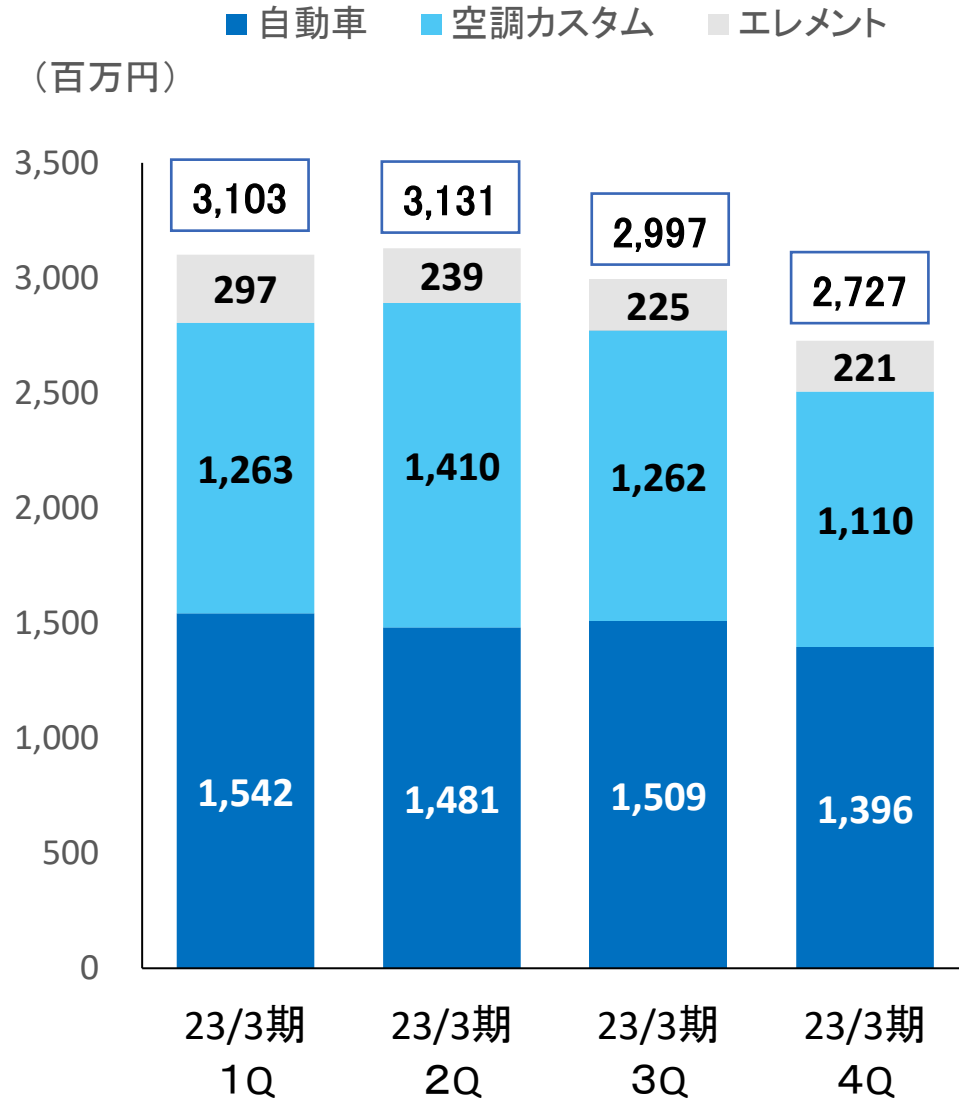
◇資産の部	22年3月	23年3月	増減
流動資産	7,689	8,437	+ 748
現金預金	1,738	2,262	+ 524
売上債権	2,678	2,566	▲ 112
棚卸資産	3,069	3,406	+336
その他	202	202	▲ 0
固定資産	3,660	3,794	+ 134
有形固定資産	3,078	3,230	+ 152
無形固定資産	132	114	▲ 17
投資その他	449	448	▲ 0
資産合計	11,349	12,232	+ 882

◇負債・純資産の部	22年3月	23年3月	増減
流動負債	3,948	5,737	+ 1,789
仕入債務	1,370	1,349	▲ 20
有利子負債	1,812	3,661	+ 1,848
その他	765	726	▲ 38
固定負債	3,923	2,018	▲ 1,905
有利子負債	3,247	1,396	▲ 1,851
その他	675	621	▲ 54
負債合計	7,871	7,756	▲ 115
純資産合計	3,477	4,475	+ 998
株主資本	2,742	3,663	+ 920
その他	734	812	+ 77
負債・純資産合計	11,349	12,232	+ 882

- 第2四半期以降エネルギーコスト上昇等の外部環境悪化が収益を圧迫
- 下期は操業度低下や為替差損計上により損益悪化

単位：百万円

	2023年3月期							
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比
売上高	3,103	100.0%	3,131	100.0%	2,997	100.0%	2,727	100.0%
営業利益	188	6.1%	99	3.2%	43	1.5%	▲ 38	- 1.4%
経常利益	295	9.5%	180	5.8%	▲ 29	- 1.0%	▲ 64	- 2.4%



事業	コメント
全体	●自動車の不調を空調カスタムの好調でカバーするも、4Qは中国市況悪化や在庫調整の影響を受けた
自動車	●車両生産の回復遅れや中国市況悪化等により通期で低調が続いた
空調カスタム	●空調は期初より好調が継続も、4Qは顧客の在庫調整や中国市況悪化等により減少 ●カスタム品は2Qでのまとめ受注により3Q以降減少
エlement	●光通信用が増加も、3Q以降は顧客の在庫調整や中国市況悪化により減

- 車両生産の回復と拡販活動で前期比増収
- 原価低減で成長投資コストを吸収し、収益を確保

【売上】

- 自動車部品は下期からの回復を想定
- 空調カスタム部品は海外及び主要顧客向けの拡販に注力

【収益】

- 自動化・合理化による原価低減を推進、エネルギー高騰や成長投資に対応

【期末配当】

- 長期的かつ安定的な配当維持と今後の成長投資を見据え、前期同額(1株当たり8円)を継続予定

単位:百万円

	2023年3月期		2024年3月期		
	実績	売上高比	予想	売上高比	前期比
売上高	11,960	100.0%	12,300	100.0%	+ 2.8%
営業利益	294	2.5%	450	3.7%	+ 52.9%
経常利益	382	3.2%	365	3.0%	- 4.6%
当期純利益	188	1.6%	210	1.7%	+ 11.3%
為替レート USD/JPY	135.50円		130.00円		

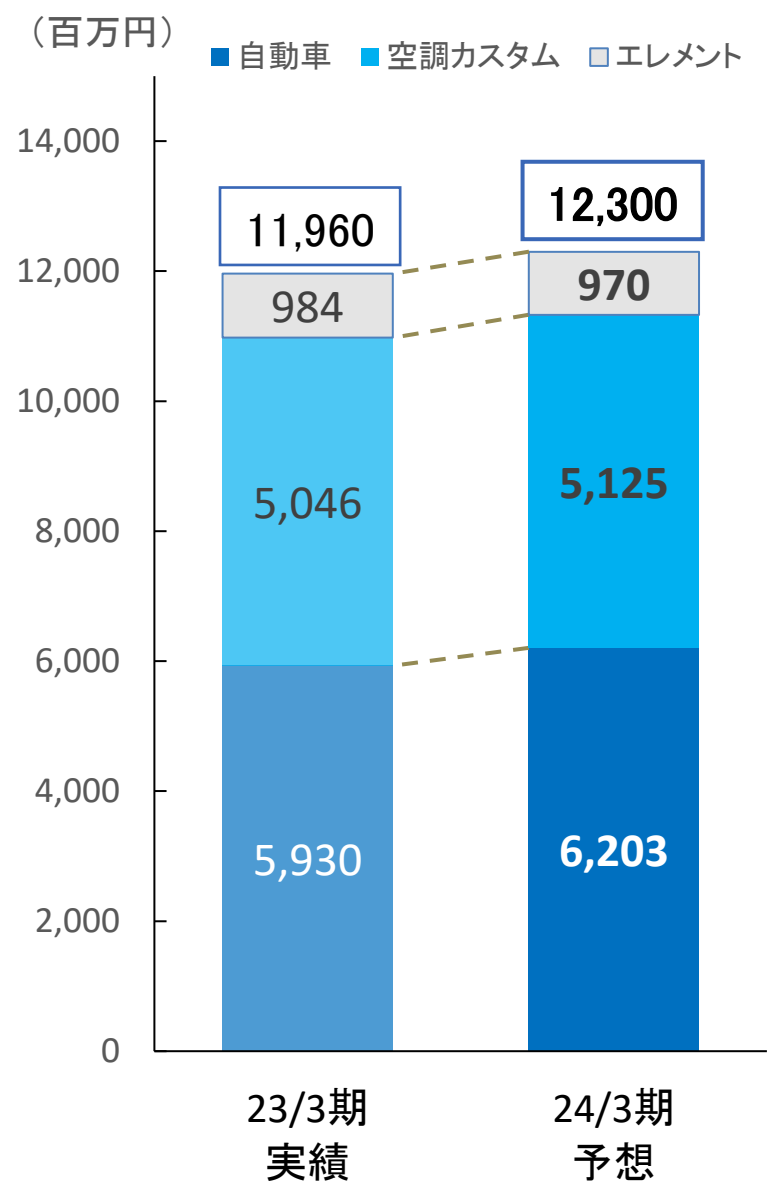
* 上記の業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。

- 上期:前期末の市況低迷が継続、原価低減を推進し黒字を確保
- 下期:車両生産回復や拡販による増収、合理化・自動化で増益

単位:百万円

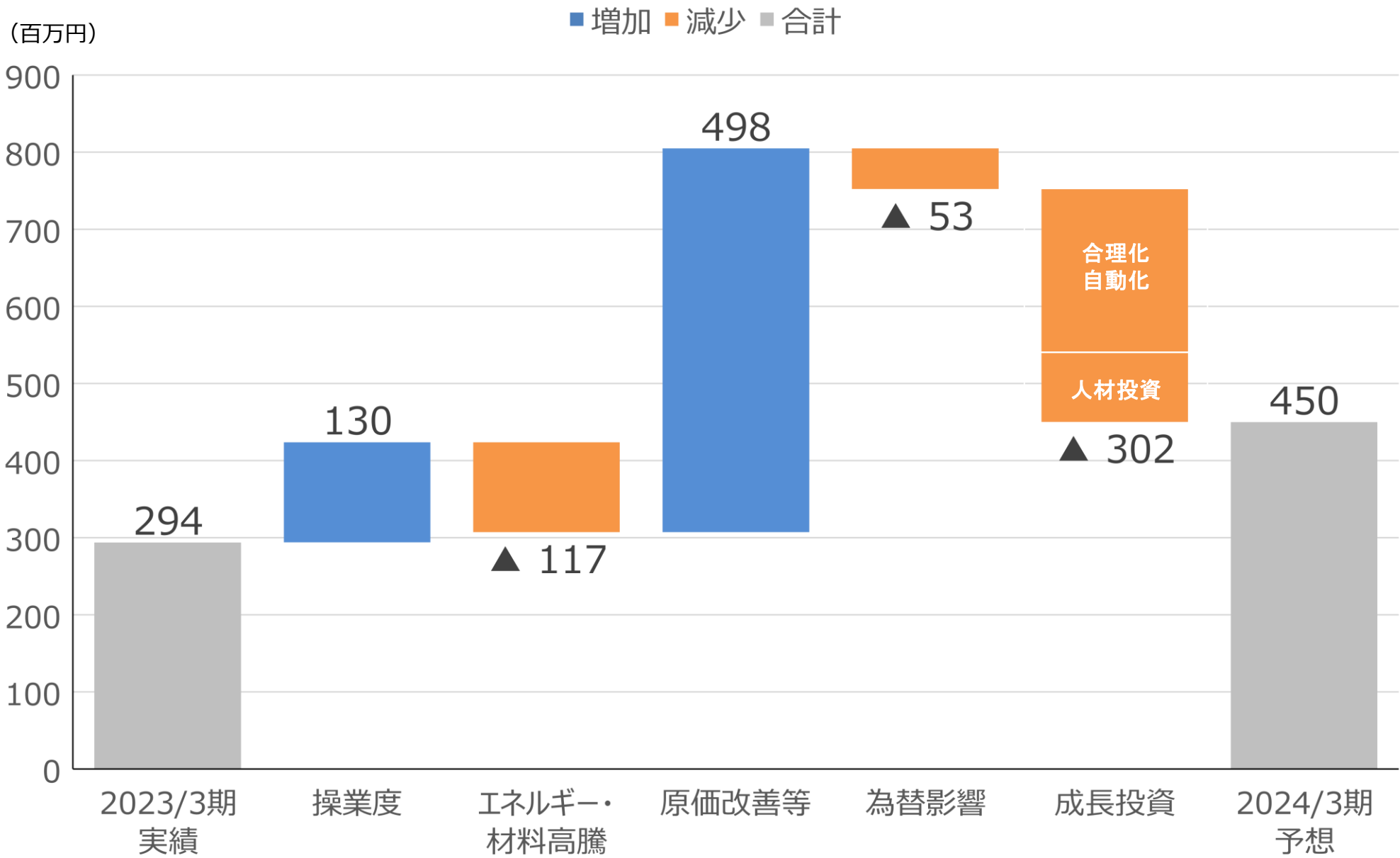
	24年3月期予想					
	上期	売上高比	下期	売上高比	通期	売上高比
売上高	5,500	100.0%	6,800	100.0%	12,300	100.0%
営業利益	30	0.5%	420	6.2%	450	3.7%
経常利益	13	0.2%	352	5.2%	365	3.0%
当期純利益	5	0.1%	205	3.0%	210	1.7%

* 上記の業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。



事業	前期比 (百万円)	増減率	増減コメント
全体	+ 339	+ 2.8%	●中国の市況悪化が継続も、注力分野の拡販による増収を見込む
自動車	+ 273	+ 4.6%	●車両生産回復・在庫調整終了で下期より回復 ●電動化領域は新規受注と市場拡大で数量増+23.5%増
空調 カスタム	+ 78	+ 1.6%	●国内主要顧客内のシェア拡大や欧米向け新規取引に注力 ●中国・ASEAN市況悪化から全体は微増に留まる
エレメント	▲ 13	- 1.3%	●中国市況悪化影響から既存品は減少 ●光通信は欧米向けの拡販で+4.2%増

2024年3月期(予想) 営業利益増減



注意事項

この資料に掲載されている、株式会社大泉製作所の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。これらは、現在入手可能な情報から得ら
れた株式会社大泉製作所の経営者の判断に基づいており、内容の正確さについては細心の注意を
払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負
うものではありませんのでご了承ください。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行
われるようお願いいたします。

センサで世界を測る、未来を拓く。

OHIZUMI

IR お問い合わせはホームページからお願いします。

<http://www.ohizumi-mfg.jp/contact/>